

野菜の切り方などの説明を聴きました(収穫祭 もり組 十一月二十一日)



くさばな しんぶん

2018年11月号

197-0802
東京都あきる野市草花3060
電話 042-558-3018



理事長・園長 山城清邦

《七五三》

十一月十五日(木)に本堂で七五三のお祝いをしました。全園児を前に、七五三の意味についてお話ししました。おうちの人は、みなさんが熱を出したときや病気の時は夜も寝ないで看病し、とっても心配をしていること、赤ちゃんが育って、三歳、五歳、七歳になるとほっとすること。少しでも長生きできるように、千歳飴を考へ出して長生きを祈ったことなどをお話ししました。そして、いつものことながら、せつやかな千歳飴を食べるとき、独り占めすると、あーら不思議、とてもマズい。それがおうちの人がやくやくの千歳飴を食べるとき、独り占めすると、あーら不思議、とてもおいしいのですよ、と。(このロジックはお年玉のお菓子の時にも使います。)

ところで、七五三の際には、年長さんだけ、洒水加持(しやくすいかじ)という儀式を行います。これは、灌頂(かんじょう)という仏教の儀式を簡略化したものです。灌頂とは文字とあり、(頭の)頂(いただき)に水を灌(そそ)ぐ、ことを意味します。「洒水」も水で清めるという意味です。

古代インドの王が新たに王座に就く際に、行われた儀式が仏教に取り入れられて来たという大変歴史的背景があります。その簡易版を、毎年、おこなっています。参列された保護者の方にも行って頂戴です。七五三を迎えたお祝い、これからの健やかな成長を祈っておこなっています。

《遠足が中止に》

ことしの秋は天候が不順であったような気がします。遠足が本番がダメ、予備日も雨模様。天候で、やむをえず中止としました。園児のみなさんのガッツリぶりは想像以上かと思えます。少しでもその気持ちを盛り上げようと、年長さんは私の兼務寺である西ヶ谷戸の花蔵院(けそういん)へ園バスで出かけました。広い畳敷きの本堂の部屋で遊び、回廊でお弁当を食べて、楽しめたようです。やま組は、この夏のお泊まり保育が、異常な暑さのため、従来からの花蔵院で行うことができませんでした。図らずもその代わりとなった格好です。かわ組・もり組は園舎の中を散策したり、ホールでお弁当をいただいたり、少しでも「非日常」を楽しめるよう担任が工夫しました。

予備日でも遠足ができなかったのは、いつ以来でしょうか。可哀想なことでしたが、代わりのプログラムでなんとか満足して貰えたようです。その中で一番のは、やっぱりお母さんのお弁当でしょうか。楽しみの多くの部分は、お母さんのお弁当です。給食とはまた違った大きな意味とお楽しみです。三月にはお別れ遠足があります。こんどこそは晴れますように。青空の下でおいしいお弁当が楽しめますように。

《葉のフレイバー》

大行寺境内は今が紅葉の真っ盛り。巨木のいちじくの黄色、サクラの赤と黄色の織りなす模様、モミジの真紅の葉が散っています。落ち葉の季節です。青葉から真夏を過ぎて落ち葉の葉っぱの命の終わりに。この季節を迎え、と頭に浮かんでくるのが「葉っぱのフレイバー」。人生とはなんだろうか、生きるってなんだろうか、という想いつながるあのお話です。一番最後に葉っぱのフレイバーが舞い降りたのは雪の上だったのだそうです。

ことしの冬は、厳しくないという予報です。でも雪はどの程度でしょうか。「おとな」になると雪が嫌いになるようです。被害が出ない程度の柔らかな雪であってほしいものです。

《歩行力》

世の中全体がそうなのでしょうけれど、私は園長になって十年経ちます。この間の明らかに良くない変化のひとつとして、幼児の歩行力の低下が挙げられます。園としては、意識的に歩く機会を保育の中に取り入れていくもの、園の保育時間の中ではとても補うことはできません。ご家庭で意識して取り組まないと歩行力は身につけません。

足は第二の心臓と言われていること、ご存知のとおりです。歩行力と基礎体力は密接につながっています。それが、氣力もつながらず、ものごとをやり遂げようという意識につながります。歩行力がない、疲れる、氣力がつながらず、歩行を続けることを諦める、助けを求めると、泣く、という関連図式が描かれます。この図式の中では、どうも、疲れる、氣力がつながらず、泣くと直結しているようです。本日はここにどうも、媒介項が入るようにも思えます。しかし、幼児では仕方がないのかもしれない、いすれにしても、大事なことです。ご家庭でも意識的に歩くことをお考えいただきたいと思っています。

《オキシトシン=愛情ホルモン》

こんな本があります。とっつきりする題名です。『子どもの脳を傷つける親たち』(友田明美著 NHK出版新書)。この本によれば、DVD(家庭内暴力)はもちろんとして、子どもへの暴言やネグレクト(無視)は、単に子どもを精神的に痛めつけるばかりではなく、子どもの脳に物理的な損傷を与えるという事です。

完全に理想的な親はたぶんいません。人間である以上、感情的になったり、いくら言っても分かってくれない泣き叫ぶ我が子を目の前にして、途方に暮れる思いをしたことは誰しもあることでしょう。

しかし、乳幼児が外部からの耐えられない攻撃に対して、わが身を守るために脳を变形させて個体の防御を図るとしたら、これはとてもないことで、その子の将来の成長に対して取り返しのつかないことになりかねません。

では、どうしたらよいか。オキシトシン、別名愛情ホルモンという物質が大事な働きをするそうです。スキンシップでこの物質が分泌され、人を穏やかな気持ちにさせるということです。(十一月三十日記)

日々の保育から

主任教諭 影山 幸江

11月に入り、急激な気温の変化で体調を崩してしまうお子さまが大勢いました。また、「リンゴ病」の疑いでお休みするお子さまや、感染してしまったお子さまも大変心配しました。「リンゴ病」につきましては、ご存知の方も多いと思いますが、ウイルスによる感染症の一つで、ほっぺたがリンゴの色のようになり、赤くなってしまいます。しかし、その症状が現れるときにはもう治癒の段階だということで、大抵はいつの間にか感染し、気づかないまま治癒してしまうようです。幼稚園は集団生活の場ですので、常にこうした病気と背中合わせですが、少しでも感染を防ぐべく、日々の保育の中で「手洗い、うがいの徹底」を心がけております。ご家庭でも励行していただき、2学期最後の1か月も元気で過ごせるよう、ご協力をお願いいたします。

さて、今月は保護者会主催の「親子観劇会」がありました。もり組の武田翔馬くんのお父さんでもあります「こまのたけちゃん」にお越しいただき、様々な独楽(こま)の技やけん玉の技を見せていただきました。たけちゃんの技の凄さと迫力に、子どもも大人も大興奮で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。また、たけちゃんより、各学年に合わせて楽しく遊べる独楽をプレゼントしていただいたことで、翌日より独楽遊びが新たに始まりました。そこで、今月は、観劇会後の各学年の様子をお伝えします。

〈かわぐみ〉
指先で回す独楽や手回し独楽を使って遊んでいました。初めて独楽に触れるお子さまも多かったようで、はじめのうちは上手く回せないお子さまもいましたが、慣れてくると上手に回せるようになり、様々な種類の独楽に挑戦しているお子さまもいました。上手く回せるとサッと頭を床につけ、床と独楽の接地面を独楽が止まるまでじっと見ていて、独楽の回る様子に興味津々の様子でした。



〈もりぐみ〉
いろいろな独楽に興味を持ち、回していました。やはりかわぐみさんよりも扱いが上手で、友だちと回る様子を見せ合ったり、回し方のアドバイスをしたりと友だち同士で楽しんでいました。紐を使って回す独楽はやはり難しく、翔馬くんにも回してもらったり、紐の巻き方を教えてもらったりしていましたが、その様子を見て、何人かのお子さまは回せるようになりたいと練習に取り組んでいました。

〈やまぐみ〉
ほとんどのお子さまが独楽の練習を始めました。練習初日には紐の巻き方から苦戦している中で、2、3人のお子さまが回せるようになり、日に日に回せるお子さまが増えてきています。担任の神谷先生も回せなかった一人でしたが、休日の自主練習(?)を経て、上手に回せるようになり、いつの間にか手の平で回すこともできるようになっていました。紐を巻く事も上手に達してきたお子さまたち。中には担任に負けじと手の平で回せるように練習をしているお子さまもいます。お子さまたちの上達の速さにただただ驚かされています。

今では昔遊びの一つとされている独楽ですが、お子さまたちにとってはとても新鮮な遊びとして受け入れられたようです。また、私たち職員もこれまであまり触れることのなかった独楽に触れ、その楽しさを実感しているところです。これをきっかけにこうした伝承遊びもどんどん取り入れていき、それぞれの遊びの楽しさを伝えていけるようにしたいと思いました。



保護者会だよ

川尻孝弘先生、鈴木典子先生、望月朋子先生にインタビューをお願いしました。

Q1. 子どもの頃好きだった遊びを教えてください

木登り・水切り

Q2. 最近楽しかったお出かけ先は?

山の中(秘密の滝)

Q1. 子どもの頃好きだった遊びを教えてください (三歳の頃)

・両親にももらったお人形で、近所のお姉さんたちとおうちごっこをしたり、塗り絵をしていました
 ・小学生の頃…ビーズアクセサリーが好きでした。

Q2. 最近楽しかったお出かけ先は?

北海道の洞爺湖・摩周湖と旅行をしました。摩周湖の霧が晴れ、美しく見えたことがうれしかったです。
 釧路川でカヌーをし、自然に触れられたことが一番楽しかったです

Q1. 子どもの頃好きだった遊びを教えてください

小学生の頃近所の空き地で、廃材で小さな小屋を作りました。数珠草の葉に糸を通してネックレスを作ったり、ドッチボールやゴム段もよくしていました。外で遊ぶのが、好きでした。

Q2. 最近楽しかったお出かけ先は?

横浜の鉄道模型博物館です。
 本格的なジオラマと、精巧なミニチュア電車が走っており、大人も子どもも楽しめます。お出かけの際は、ぜひ寄ってみてください。

先生方、お忙しい中インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。
 日に日に寒くなってきています。体調に気を付け、お過ごしください

担当 やまぐみ
 佐藤紀、佐藤敦、島村